

学力向上プラン〔美術〕科

研究主題 「基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化」		
副主題 ～特別な教育的な支援の視点をもった支援の工夫～		
仮説 各教科を中心に、通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒を念頭におきながら支援することで、学習活動への意欲が高まり、基礎学力が定着するであろう。		
教科研究のUD化テーマ	美術が日常生活に果たす役割を理解し、個性を生かした表現ができるように楽しく制作に取り組む。	
教科における方向性	教科で目指す子どもの姿 ○五感によって得た感動の経験を表現できる。 ○丁寧な作業で制作に取り組む。 ○道具を正しく使い、美しい作品を完成させる。	
	焦点化 ・五感によって感動したことから発想をする。 ・アイディアスケッチを描いて作品の完成予想図をつくる。	視覚化 ・参考作品を鑑賞して作業の方法を理解する。 ・材料を選ぶ。
	共有化 ・自分と他の生徒の作品を鑑賞して、それぞれの工夫されたところや個性を味わう。 ・次回作品の予想をする。	個別の配慮等 ・表現の方法や道具の使い方等を見て見せる。 ・制作を楽しませる。
個人研究の方向性	個人研究テーマ ○視覚教材（参考作品等）の活用 ○達成感を経験させる。	
	基礎学力の向上を目指した授業のユニバーサルデザイン化のための工夫 ○参考作品を鑑賞させる。 ○材料と表現方法を工夫させる。 ○自分の作品に感動できる取り組みをさせる。	